



五木村議会だより
2014年(平成26年)7月31日発行

題字：尾方 芳郎氏

No. 109

やまき



なつはつお 八重地区の夏初穂の風景(7月13日)

(もくじ)

- ・ 6月定例会・臨時会……………2～3
- ・ 教育委員会制度改革は(一般質問)……………4～5
- ・ 議会報告会と意見交換会を開催……………8
- ・ わらびとインタビュー……………9
- ・ 五木村の宝……………10

こんなことが
決まりました

ケーブルテレビの情報・取材に
専従する任期付職員の採用

平成26年第2回五木村議会定例会が平成26年6月11日から12日までの2日間開催。「条例の一部改正案件2件」、平成26年度補正予算案件4件、「追加提案1件」の合計7件を原案のとおり可決しました。

また、一般質問には2人の議員が村政について質問しました。

■条例の一部改正

● 地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件に関する条例の一部改正

人吉市が中心都市宣言をおこなったことにより、人吉球磨定住自立圏構想連携協定の締結又は変更若しくは廃止する旨を通告することについて、議会の議決すべき事件とするための改正。

● 社会教育委員会条例の一部改正

社会教育法の改正により社会教育委員の構成の基準を明らかにするための改正。

■追加提案

● 工事請負契約の締結

1 契約の目的
白滝公園整備工事

2 契約の方法

指名競争入札に付し落札契約

3 契約金額

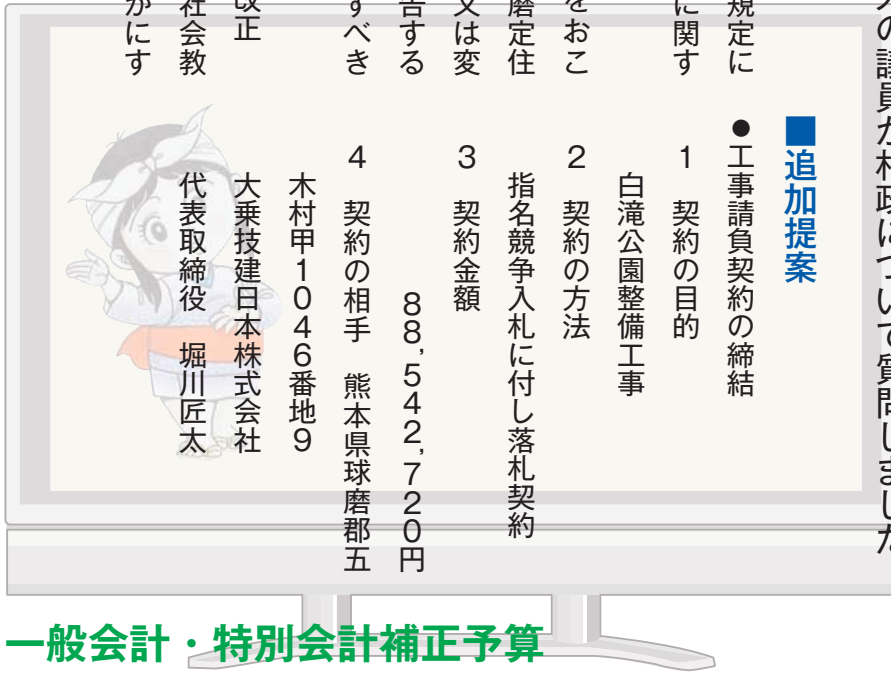
88,542,720円

4 契約の相手 熊本県球磨郡五

木村甲1046番地9

大乗技建日本株式会社

代表取締役 堀川匠太



一般会計・特別会計補正予算

会計名	補正額	予算現額
一般会計	3,418万円	30億9,864万円
介護保険特別会計	6万円	1億9,499万円
代替地上下水道事業特別会計	181万円	1,438万円
後期高齢者医療特別会計	25万円	2,310万円

一般会計補正予算の主なもの

総務費	任期付職員の給与・手当・共済費	643万円
	社会保障・番号制度に伴う個人情報保護制度再構築支援業務委託	424万円
	林業振興基金積立金	480万円
	村有林分収林地主支払金	320万円
民生費	保育所民営化検討委員会設置費用	24万円
農林水産業費	木の駅プロジェクト事業補助金	300万円
	森林測量GPS端末購入費	91万円
災害復旧費	林道空舎線地質調査業務委託	800万円

臨時議会

平成26年第3回議会臨時会

(平成26年3月31日)

議案名	採決結果
工事請負変更契約の締結について (五木村健康・交流広場(仮称)整備工事(その1))	可決 (全会一致)
工事請負変更契約の締結について (五木村健康・交流広場(仮称)整備工事(その2))	可決 (全会一致)
工事請負変更契約の締結について (村道葛の八重線道路改良工事)	可決 (全会一致)
工事請負変更契約の締結について (林道八重線開設工事)	可決 (全会一致)
平成25年度五木村一般会計補正予算(第11号)	可決 (全会一致)
平成25年度五木村国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	可決 (全会一致)
平成25年度五木村簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)	可決 (全会一致)
平成25年度五木村代替地上下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決 (全会一致)

平成26年第4回議会臨時会

(平成26年4月22日)

議案名	採決結果
繰越明許費繰越計算書について(報告)	承認 (全会一致)
専決処分承認を求めることについて(五木村国民健康保険税条例の一部改正)	承認 (全会一致)
工事請負契約の締結について(五木村健康・交流広場(仮称)整備工事(植栽工))	可決 (全会一致)

平成26年第5回議会臨時会

(平成26年5月14日)

議案名	採決結果
工事請負契約の締結について(五木村健康・交流広場(仮称)整備工事(大屋根棟))	可決 (全会一致)
平成26年度五木村一般会計補正予算(第1号)	可決(賛成6、反対2)



旧大乗建設事務所跡

第3セクターへの補助金計上の説明

(一般会計補正予算)

企画費に「第3セクター観光拠点施設整備補助金」の4千600万円が計上されました。これは旧大乗建設の敷地と建物等を「株子守唄の里 五木」が購入するために村から補助金として支出されるもので、目的は物産館内の第3セクターや観光協会の事務室に商談や職員の事務机を置くスペースがないこと。また「バンジージャンプ」を来年度から運営するためには時間がなく、運営会社との契約を早期に完了したため、当該敷地等を買取り、今後の運営の充実を図りたいとの理由です。

討論

反対(田山淳士議員)	賛成(岡本 正議員)
再三、全員協議会で協議をしてきたが、不透明な説明が何箇所もあり、慎重に対応すべきである。第3セクターも赤字経営であるため、もっと検討を重ね1、2ヶ月遅れたからといって影響はない。もっと慎重に考える意味で私は反対する。	第3セクターは、村が雇用対策と住民の所得向上のために立ち上げたものである。今回、新たな雇用の場の確保とその体制を構築するために、どうしても必要な物件であるということ、是非、第3セクターが成功するように更なる努力をされることを期待して、私は賛成である。

を問う！



教育委員会制度改革は 計画に基づいて進めていく

山本議員

深水教育長

し、本村においても今後も続けていきたい。

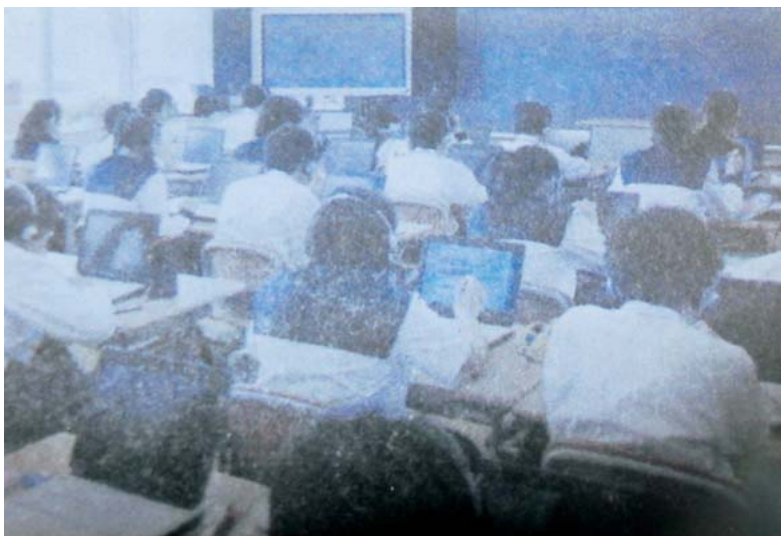
山本議員 全国連合小学校長会並びに全日本中学校長会が去る4月25日に、今国会で審議されている教育委員会制度改革について、下村文部科学大臣に要望を提出され、内容は3点、政治的中立性の確保、教育の持続性の確保、学校や地域住民の意向を反映させることなど。これについて、教育長の考えは。

深水教育長 教育というのは国民として共通に必要なものを身に付けさせる必要がある、中立性は確保されなければならないと思う。継続性、安定性についても子供達の健全な発達、一貫した教育の方針、それに基づいて教育が行われなければならないと思う。

地域住民の意向は、学校、家庭、地域、これが一体となつて教育を進めていき、法案が改正されても引き続き大切に



電子黒板で授業を受けている風景



タブレット授業を受けている学生

村づくり



耕作放棄地の対応と林業担い手の育成は

藤本議員

国、県の財政面の協力と目標に向けて取り組む

和田村長

●耕作放棄地の対応は

藤本議員 高齢化で耕作放棄地が多くなり、鹿、猪、猿の行動エリアが広がっており、人が襲う問題も発生しており、早目の対策が必要であるが。

和田村長 耕作放棄地が拡大すると餌場が増え活動が活発になる。行動エリアや群れの調査をやっているが、大変な課題と思っ

質問 農協・全農・全中の制度改革地域農産物の生産を目的とする農業の株式化で本村も農業法人を進める必要があると思うが。

村長 第三セクター等で農業参入の奨励的な予算化をしており、耕地の標高差や、気象条件を生かし農業参入ができればと思っている。

質問 県内企業の農業参入が98件あり、トマト、レタスが51%で340人の雇用が生まれ、本村でも取り組む考えは。

村長 設備投資する企

業がなく困っている。ミニトマト等については大面積が必要ないので、特化した農産物を進めていただきたいと思っ

質問 農林業を担う若い人が村に少なく、村外及び外国人を受け入れる考えは。

村長 農業法人の経営として活動いただく必要があり、そこで働く方が独立することが理想である。

質問 水没予定地中部エリア久領地区でハウス栽培をし、若い方の雇用の場として活用する考えは。

村長 代替農地エリアとして計画しており、具体的に今年中に詰める。企業の参入として従業員を募集しても人が集まるか、不安もある。

●林業の担い手の育成

質問 本村の林業従事者は高齢化しており、本村の膨大な森林を今後どう守る考えか。

村長 村、県、森林組合で検討をしている。日々の賃金を月給制に

移行し、一方、林業従事者専用の住宅も検討している。

質問 林業従事者は雨天時、積雪時で作業ができない。助成措置等の対応が必要であると思っ

村長 通年ベースで雇用ができる形を取る必要がある。素材生産や丸太を振り分けて付加価値を付ける場所を造ればと思っ

質問 林業指導所、育成基金、県林務課関係OBの方の助言や指導を受けて担い手を育成の考えは。

村長 ご協力が必要と考えている。

質問 中国の電力会社が国内の山林平地を買収し、メガソーラーを設置して

り、本村でも可能性はある。この問題での対策は。

村長 規制する方法が



計画されている農地エリア

ないのか検討したい。山林売買後の届出でもあり売買前に把握ができない。日本の中間業者が入っており、全部分からない。情報の把握に努めたい。

質問 ふるさと五木づくり計画も残すところ5年であり、農地や山林を活用した産業振興に取り組む必要は。

村長 椎茸やレタス、トマト、葉草栽培等立派なものができており量的にまとめて売る出口が大事であると思っ

ICT教育実践校視察研修及び意見交換会

視察研修場所

山江村山田小学校

調査期日

平成26年5月29日

調査の目的

近年、学校教育の現場では、タブレット端末・電子黒板等を教材として使う授業が進められている。本村東小学校も平成24年度事業でICT教材を購入し、平成25年度から教材を活用した授業を行っており、当委員会も昨年、東小学校



社会科の授業（6年生38人）

のICTの概要説明と授業見学・意見交換会を行ったところである。今年度、東小学校も「ICT「未来の学校」創造プロジェクト推進校」の指定を受け、更なる実践活用と本村の子供たちの学力向上を期待し、ICT教育において、全国でも先進地である山田小学校の取り組みを調査し、各委員においてもICTに関する知識向上を図るため視察研修等を行った。

調査内容

- ①山田小学校長より取組状況と概要説明
- ②質疑応答
- ③6年生の授業（社会）見学
- ④意見交換会

意見交換とまとめ

山田小学校長の説明によると、端末周辺機器の整備は大変重要で、教材が充実していれば、授業がスムーズに進められ学力の向上につながり、先生方の負担も軽減されるとのこと。

しかし、先生方は数年単位で移動があり、子供たちも中学校へ上がると、違ったソフトで学習していた場合、戸惑いも生じるのではと懸念される。このような学習教材は、管内で統一したもので取り組みが出来るように図られるべきではないか。また、教材に対する「苦手意識」の克服や「思いやり」の教育については、デジ

ルとアナログの融合を図り、より良い学習効果を目指すと言われていた。五木東小学校においても同じような環境の学校とのICT活用についての連携が取れば、より一層の学習効果が得られるのではないかと思われる。

なお、個人情報の保護については細心の注意を払っておられた。



タブレットと手書きによる学習

★ICT・・・Information and Communication Technology（インフォメーションアンドコミュニケーションテクノロジー）の略称で、情報・通信の工学及びその社会的応用分野の総称。近年「IT（Information Technology：情報技術）」から、それに変わり、IとTの間にC（Communication）が入り、コミュニケーションの力がコンピューター技術の向上以上に注目されるようになった。

★タブレット・・・液晶画面（タッチパネル）を指で触れて操作できるコンピューター製品。

国道445号（瀬目トンネル）、国道445号（九折瀬・神屋敷間） 主要地方道宮原五木線（屈曲区間）の調査について

調査期日 平成26年5月26日

調査の経緯

国道445号（瀬目トンネル）、国道445号（九折瀬・神屋敷間）、主要地方道宮原五木線（八代市東陽町側）の急な曲線の危険箇所を安全、安心な道路の確保の観点から現地の調査を行った。

各現地の問題点と課題

- 国道445号（瀬目トンネル）
 - ・地すべりが年間5ミリ程度動いている。
 - ・地盤検討委員会が2回開催されている。
 - ・安全対策は観測器・自動通報装置・水抜き対策と毎日の目視点検を行っている。
- ・抜本的な対策として、迂回トンネルによる地すべり回避する案が望ましい。
- ・今後、検討委員会で取りまとめが行われる。

まとめ

- 国道445号（瀬目トンネル）
 - ・検討委員会の検討結果を待つ。
- 国道445号（九折瀬・神屋敷間）
 - ・6月4日に土木部の説明を受けて対応する。
- 主要地方道宮原五木線
 - ・屈曲区間は東陽町側が多く、八代土木管轄であり、協議が必要。全員協議会で協議し対応する。



センターラインを超えてくる車両（八代市東陽町側）

主要地方道宮原五木線

- ・当路線の改良促進期成会は平成25年3月に解散されている。
- ・産業振興に重要な路線であり、2次改良工事に向け改良箇所を調査し、改良実現に向けた活動を展開する。
- ・高速道路や国道219号が通行止めとなった場合、重要な路線である。

国道445号（九折瀬・神屋敷間）

- ・関係地区に住民説明会を開催し、意見内容等を含め、6月4日に振興局土木部の説明を受ける予定。



早期の整備が望まれる国道（村道九折瀬線入口）

議会報告会と意見交換会を開催

ご希望のあった3地区(下谷・平瀬・下梶原)にて、議会報告会と意見交換会を開催しました。この報告会は過去2回行ってありますが、昨年8月に議会が新体制になってから初めて行ったものです。

当日は正副議長より委員会の構成や次期議会選挙から議員定数(10人→8人)の説明や総務常任委員会と経済常任委員会は調査の報告(6ページと7ページに掲載)を行い、ダム対策委員会は国道445号の瀬目トンネルや九折瀬・神屋敷間の状況を報告しました。

意見交換会では、地区が抱える問題を直にお聞きすることができ、有意義な意見交換会ができました。区長様をはじめ地区住民の皆様、大変ありがとうございました。

総勢59人の方々にご参加いただき、たくさんのご意見をいただきました。紙面の都合上、下記ご意見等を抜粋し掲載しますので、ご了承ください。

地区からのご意見等

地区名	ご意見・要望等(要約)	議会からの回答
下谷	離村された方々は、なかなか五木へ帰って来られない。その方の空き家が廃屋となり土地も荒れ果て、解体するにもお金がかかり、結局放置される。空き家を村で買い上げるなどの考えはないか。	現在は空き家を改修し、U・Iターン者に貸している。買い取って欲しいとの要望もあるそうだが、今のところは改修して貸す、という事業である。また、防犯上の問題も懸念されるため他市町村でも対策を練っているようだ。執行部にも伝えたい。
	①議会放送で途中から見ると、なかなか何を議論しているのか分からない。議論内容のテロップをふんだんに入れて欲しい。 ②定例会や臨時会以外の委員会の模様も放送して欲しい。	①議会事務局で編集を行っているが作業に3日ほどかかっている。しかし、7月に専門の任期付職員が採用されたので、今後、総務課と協議を行いたい。 ②職員の採用で委員会の取材等も可能になってくると思う。機材の充実を図り、地域行事等、色々な放送が改善されていくと思う。
平瀬	県道宮原五木線の椿地内(砂防ダム付近)で大型車同士の離合が困難である。先日もあわや衝突事故が起きそうになった。改良はできないのか。	数十年前から建設課から熊本県へ要望をしているが、砂防ダムのサイトでもあり、山側を掘削するのも困難なようである。これからも要望や検討を行うよう建設課に申し入れる。
	現在、平瀬集落の土地は村有地となっており、集会所まで軽乗用車や車いすが通れるほどの道路を整備できないか。もしくは、集会所自体を下へ移してもらえないか。	執行部へ伝えるが、地元住民で十分、話し合っていたら、最良な案が提示できるのであれば、執行部と議会に要望書を出していただきたい。
下梶原	万蔵平線は県の作業道であるが、生活道路として利用しており、落石等も多く困っている。村道への移管ができないか。	2年前にも同じ要望があったので村に伝えているが再度、伝えたい。村と県の協議により、合意を得られれば、村道への認定も可能かと思う。
	議会が研修に行く際、研修内容に興味があるなら、住民も同行できないか。	議員の視察研修等は、国や国会議員への要望活動も併せて行っている。住民の研修については、人材育成基金事業もあるので、それをどんどん活用して、行っていただきたい。



下谷地区



平瀬地区



下梶原地区

五木村と村外の方々の 懸け橋になりたい



おくむら のぶひろ
奥村 薫寛さん (30歳)

◎役場にはいつ入られましたか？

平成25年4月に採用され、建設課に配属されました。現在2年目です。

◎どちらのご出身で、現在、どの地区にお住まいですか？

生まれは隣の東陽村（現東陽町）です。頭地地区に住んでおります。

◎役場に採用される前は、どこでどんな仕事をされていましたか？

沖縄県の大学を卒業後、インターネット関連の営業会社に勤務し、商材の販売をしていました。

◎今年の7月に建設課から住民税務課に異動されたとのことですが、建設課での仕事内容を簡単に教えてください。

建設課には1年3ヶ月の在籍でしたが、道路の維持修繕工事や林道の災害復旧工

の監督員、水道施設の定期点検などでした。多くの住民の方と接することができ、五木村の地理についても勉強になりました。

◎住民税務課では、何を担当されていますか？

主に国民健康保険税と村県民税の担当をします。また、地籍調査業務にも携わります。住民の方々と接する機会が多くなりと思いますので、今後もよろしく願っています。

◎五木村での生活で、「良かったこと」と「困ったこと」はそれぞれ、何がありますか？

良かったことは、日本一きれいな川と山々に囲まれ、緑豊かな自然の中での暮らしができ、何より食べ物美味しいことです。困ったことは、五木の美味しいものを食べすぎて体重が増えたことです。

◎五木村の将来とあなたの将来像について、お聞かせください。

五木村は少子高齢化など多くの問題を抱えており、住民がそれぞれ知恵を出し協力し合って、いろいろな振興に取り組みておられます。私も一人の村民として村づくりの一助となるべく頑張ります。

また、私は村外出身なので、私の故郷と五木村との交流も盛んに行い、五木村と村外の方々との懸け橋になりたいと考えています。

議会の動き(6月～8月)

6月 1日	村道九折瀬線道路改良完成式（正副議長・中村経済副委員長）	7月 7日	7月定例郡議長会議（議長）
6月 3日	議会運営委員会	7月11日	広報委員会
6月 4日	平成26年度川辺川ダム砂防事務所事業説明会 6月定例全員協議会 国道445号（九折瀬・神屋敷間）振興局土木部説明会	7月14日	一般県道五木湯前線・幸野染田線改良貫通促進期成会総会（議長・岡本正経済委員長） 平成26年第6回五木村議会臨時会 広報委員会
6月 6日	6月定例郡議長会議（議長）	7月16日	全国森林環境税創設促進議員連盟定期総会（議長）～18日
6月11日	平成26年第2回五木村議会定例会～12日 消防団ポンプ操法展示訓練（議長）	7月17日	議会全員協議会
6月17日	経済常任委員会	7月22日	一般県道小鶴原女木線改良貫通促進期成会総会（議長）
6月22日	球磨郡消防団操法大会（議長）	7月23日	例月現金出納検査（岡本正監査委員）
6月23日	例月現金出納検査（岡本正監査委員）～24日	7月24日	広報委員会
6月27日	「ダムによらない治水対策」勉強会（議長、田山ダム委員長）	7月25日	
7月 1日	議会報告会及び意見交換会（下谷）	8月 3日	村道鶴線道路改良完成祝賀会（議長）
7月 2日	球磨川水系川辺川砂防促進期成会総会（議長）	8月 5日	熊本県町村議長会正副議長研修会（正副議長）
7月 4日	7月定例全員協議会 川辺川ダム建設促進協議会定期総会（議長） 三期成会合同定期総会（議長）	8月 6日	8月定例全員協議会 下球磨町村議長会連絡協議会総会（正副議長）
7月 6日	議会報告会及び意見交換会（平瀬・下梶原）	8月 8日	8月定例郡議長会議（議長）
		8月19日	球磨郡監査委員連絡協議会研修会（岡本正監査委員）
		8月21日	例月現金出納検査（岡本正監査委員）～22日
		8月25日	熊本県町村議長会常任委員長・議会運営委員長研修会（議長・岡本精議運委員長・早田総務委員長・岡本正経済委員長）
		8月29日	人吉球磨広域行政組協議会定例会（田山・山本議員）

シリーズ たから 五木村の宝 Vol.12

= 平沢津地区 =



平沢津 (端村)



神社



椎葉

平沢津地区は、椎葉地区と、端村地区^{はむら}からなり、国道445号を下鶴地内から、(県道247号)九連子落合線に沿って子別峠方面へ約12~13km上ったところにある。手前が椎葉地区でそこから右へ2km程行った集落が端村(昔の地図上ではここ)が、平沢津と表記されている)である。また、椎葉地区からは左へ村道端海野線が延びている。現在のような車道が出来たのは近年(昭和41年頃)で下鶴、椎葉間を整備し、椎葉、端村、子別峠間(後

の県道247号線)については、地区の方が木材を売却し、その代金で工事をしてもらった経緯もあったようだ。開通の記念碑が椎葉地区の集落入口辺りにひっそりと建てられている。学校は明治43年に私学校として始まり、その後、五木北小学校、及び五木第二中学校の分校として多くの卒業生を送り出したが、第二中学校分校が平成7年に小学校分校も平成19年に廃校となった。2つの集落の真ん中辺りになる山頂には、立派なたたずまいの

神社がある。創建年は、定かではないが、五木阿蘇神社の分社とのこと。参道は尾根筋にあり、鳥居までの両側にシヤクナゲ林が続き、境内は鬱蒼とした森に囲まれ神秘的である。例祭は、春祈禱、秋の大祭(10月22日)、他に8月25日、9月9日、11月16日にも行うそうだ。車道が開通するまでは、山の尾根を越え山道を歩いて、八重地区へ出て行つたと聞く。地区を流れる平沢津川は、小鶴川(泉町下鶴地区)に合流し、やがて、川辺川へと注ぐ、合流点は下鶴(八代市)と、上荒地(五木村)の境界を成すところである。(ここは、県道と国道(445号)が交差しているところでもあり、川辺川の川向こうの山中には中道と呼ばれる集落がある。この地区の紹介は次号にて。

続きは次回へ

編集後記

月日の経つのは早いもので、今年も半年が過ぎました。これから暑い日が続きますが、お体には十分注意してください。さて、災害は忘れた頃に起きると言われています。

今年は、異常気象の原因となる「エルニーニョ現象」の発生する可能性が高いと気象庁において発表されております。今から30年前の昭和59年6月29日に発生した山崩れで大勢の犠牲者を出した竹の川地区の災害を思い出します。村においても昨年度から地域の自主防災組織の見直しとして、地域自主防災組織活動支援事業を行っていますので、住民各位のご意見とご協力をよろしくお願い申し上げます。

(S・O)



次回の定例会は9月中旬の予定です。皆様の傍聴をお待ちしております。

★夏初穂・・・昔、夏は流行病や天災、水難事故が多かったため、その災いが起きないように、現代でも引き継がれ祈祷されている。